



知的夢工房

第 159 号

平成 26 年 4 月 6 日

定例会
毎月第 1 日曜

発明工夫、アイデア、知的財産を楽しむ会

発行 知的夢工房

TEL050-3344-5032 熊本



デザイン思考のススメ



三月例会は崇城大学デザインセミナー

三月定例会は崇城大学で開催されたデザインセミナーにみんなで参加しました。講師は崇城大学芸術学部教授の本間康夫先生で、今回はグループに別れてみんなでアイデアを出し合うワークショップもあり、大変楽しいセミナーでした。

I. 本間先生より「デザイン思考の商品開発」について説明お話

昨年から経産省でもデザインを活かしたものづくり「デザイン思考の商品開発」を全国に展開し浸透させる動きがあるそうです。商品開発においてプランニングから販売まで全てを通して早い段階でデザイン思考を取り入れることが大切！

売れるモノとは・・・「いいモノ」＋「伝わるモノ」⇒すなわち「よさが伝わったモノ」

II. みんなでアイデアを生み出す「極端思考」ワークショップ

一チーム 3~4 人のグループに別れて「極端思考」発想法を体験。テーマは「最高の図書館をデザインする」でした。今まで今回のような発想思考は未体験だったので最初は戸惑いでしたが、先生の指導助言でだんだんと理解できるとみんなからどんどんアイデアが飛び出します。そして最後に各グループ毎に自分たちの考える「最高の図書館」を発表し閉幕しました。



グループに別れて思考提案



いろんな気づきや閃いたアイデアを
どんどん紙に書いていく



私達が提案する最高の図書館は....



デザイン思考の商品開発に「気づく」「考える」「作る」「伝える」という 4 つのプロセスの説明がありました。私は普段モノ(コト)づくりを考えると、常に『誰に(ターゲット)何を(価値など)提供(提案)するのか』を明確にしています。このことが明確にできれば上記の 4 つのプロセスを具体的に肉付けできるのではないのでしょうか。この度も本間先生より貴重なお話、また新しい発想法によるワークショップなど楽しくて有意義なセミナーに参加させて頂きありがとうございました。(測上正弘)